

11月 三豊市市民交流センター エントランス展示

・馬淵晃子絵画展

期間：令和3年11月6日(土)～11月22日(月)



マコトウミノコ 晃子
馬淵 晃子

【展覧】
市川展で数回生まれ
2010 三豊アートフェスティバル2010 (春の都府民共展)
豊高学生ビエンナーレ (豊高展の近代美術部)
2012 2012年12月20日 (アートフェスティバル)
2015 展覧 (ザンクラーナリ、京橋)
2016 ART OSAKA 2016 (アートフェスティバル)
2017 三豊アートフェスティバル2017 (豊高アートセンター、東区)
2019 L'automne de Printemps (Galerie Miro Line、フランス・パリ)
2020 馬淵晃子展—緑の心の中へ— (豊高展の近代美術部)
2021 馬淵晃子展—心の中へ— (豊高展の近代美術部)
市川展 (東京大芸、美術館)
その他展覧会数

【作家観】
広く深い自然の中で、自分の存在を確信できるのは自分しかおらず、その空間の中で自分も自然の一部なのだと強く感じる。その強さははかなく、美しくも怖い自然に存在が溶け込むような感覚をとてもおきたい、そんな空間を創りたい。

これまで、画面の奥へ奥へ空間を求め、背を深く沈める姿勢に委ねられ、水筒給水の音も利用し、広がりやかわらぬまを追究したり、具体的な形を機械的にしながら様々な生命感と複雑な構図を浮かべた空間を大空に託した。

現在も創りたい空間は変わらないが、最近では「白」に魅惑を感じる。青、黄、紫一日敵でよく目にする「白」は顔もうとすると透明になり形がなくなってしまふ。全ての色を反照して見えるその色は、様々な表情を持ち、私が自然に感じられる感覚に近い部分があるように思う。「白」の曖昧さの持つような空気の香りを画面から引き出せたら、と思い創作している。

